

■菊池容斎 画家。500余人の歴史人物を描いた「前賢故実」を出版し、近代歴史画隆盛に先鞭をつけた。

きくちようさい

・ ・ ・ ・ ・ 1788 =

江戸下谷長者町で、幕府西丸の御徒河原専蔵武吉の次男に生まれる。

父は菊池家から養子にきた人であったが、系図によると南朝遺臣の菊池肥後守武時の後裔であるという。

松平定信引退1793 = 5歳 :

昌平鬢始・ ・ 1797 = 9歳 :

幼時より絵を描くのが好きだったが、画を学ぶことを父から許されず、

膝栗毛始・ ・ 1802 = 14歳 : 早世した兄に代わって河原家を嗣ぐ。

アメリカ船来航始1803 = 15歳 : この年、両親の肖像画を描いてその伎倆を認められ、ようやく許しが出、

青洲麻酔手術1805 = 17歳 : 高田円乗に師事し、狩野派や南蘋風の絵を学ぶ。

いざ乃報復・ 1806 = 18歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1810 = 23歳 : この頃、師円乗が死去したが、

その後は師につかず、その教えを守り流派にこだわらずにその長所をとることに努める。

・ ・ ・ ・ ・ 1815 = 27歳 : 父の生家が断絶して名家が廃されるのを惜しみ、妹に婿養子を迎えて河原家を嗣がせる。

水野忠成老中1818 = 30歳 :

シボム鳴滝塾1824 = 36歳 :

異国船打払令1825 = 37歳 : \*致仕し、菊池家を再興、菊池武保と名乗る。「前賢故実」の著作に取りかかり、

日本外史・ ・ 1827 = 39歳 : 以後数年間、京畿を漫遊し、自然描写や名家所蔵の古典作品を研究するとともに、古社寺の宝物を捜査、

その成果を利用して、神武天皇の時代から、後龜山朝にいたる日本史を代表する500人を選び、画に小伝を加えるか詩歌を掲げ、

天保大飢饉始1833 = 45歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1836 = 48歳 : \*「前賢故実」10巻を完成し、代表作となる。

大塩平八郎乱1837 = 49歳 :

生活は楽ではなかったが、画を認めてくれた旗本・久貝因幡守の財政援助を得て「阿房宮兵燹の図」「呂后人」を作る図などの大作を描いた。学問上の知己として羽倉簡堂がいる。

天保改革弾圧1842 = 54歳 :

阿部正弘首座1845 = 57歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1848 = 60歳 : 江戸浅草寺に絵馬大作「堀河夜討図」などを揮毫。

尊徳報徳論・ 1851 = 63歳 :

ペリー来航・ 1853 = 65歳 :

桜田門外変・ 1860 = 72歳 :

明治維新・ ・ 1868 = 80歳 : 「前賢故実」が刊行され、

戊辰戦争終・ 1869 = 81歳 : \*明治天皇が東京に遷る際、推薦されて天皇の目にとまり、「日本画師」の号を賜られた。(一説によると刊行前に孝明天皇に献上され、天皇を動かして和氣清麻呂に神号追贈の契機になったという。)\*藤房天馬の諫「高德題桜」「隅田綾瀬の図」を献上。

佐賀の乱・ ・ 1874 = 86歳 : 「土佐日記絵巻」2巻を描く。

西南戦争・ ・ 1877 = 89歳 : \*内国勲業博覧会に「前賢故実」を出品し、最高の竜紋褒賞を授与された。

大久保暗殺・ 1878 = 90歳 : 神田お玉が池の自宅で、没した。

“容斎”という号は、厳格さのあまり他人を容赦しない自分の性質を戒めるためにつけたという。

平凡社百科事典、インターネット、